

ARAI NEWS

ヘルメットに限らず帽子など頭に載せるものは、洗う事など一般的でないようですが、長い間かぶり続けたヘルメットの内装は、汚れや臭いが気になってくるものです。アライでも、体に身に付けるもので洗えないもの、あるいは着替えられないものは、頭に載せるものだけというのはおかしなことだと常々思っていました。特に頭には清潔なのが大切だと言われています。変な話ですが、若ハゲの進行を遅らせるには、頭を清潔にするのが一番大切だそうです。

このヘルメットの内装を清潔にしたいというアライの歴史は以外と古く、今から20年以上前に、内装がすべて取り外れるヘルメットを世界に先駆けて発表していたのです。ところが、かぶり心地に関してはいまいちで、アライとして納得できなかった事もあり、まもなく生産中止にしてしまったという苦い思い出もあります。

その後、長い時間が経っていますが、その間に、内装が取り外れるシステムは、世界中で発表されています。しかし、どれもかぶり心地や使い勝手、または安全性に難有りのものばかりでした。とくにフルフェイスタイプに関しては、かぶり心地が重量を感じさせる大きなポイントともなるため、アライとしても市販レベルに達するようなものは、なかなかできずにいました。



できたのは、いうまでもありません。

そしてこの秋、20年以上前からの課題であった、フルフェイスでありながら、安全性を損なうことなく、内装がすべて取り外れ、洗濯が気軽にできるというシステムを新しい「アストロFS」に採用させていただくことになりました。

アストロFSに採用した内装ですが、まず第一の特徴はホホからの広い面積を押さえるクレイドルパッドです。ホホ部分から耳の上部、そして後ろ側にかけて、広い面積を均一に押さえることにより、ヘルメット下側から、今まで以上に安定するしっかりとしたかぶり心地をもたらす事ができます。さらに、人間の耳の位置を入念に調査することにより、耳全体を押さえずに、開放感をもたせ、逆に、耳の回りをしっかりと押さえることにより、走行中の風切り音も低減させています。このクレイドルパッドの採用が、内装部分をすべて取

り外しできるシステム内装導入のきっかけになったのです。

アストロFSのシステム内装では、クレイドルパッドだけでなく、サイドクッション、天井パッド、ネックパッドまでもが、すべてワンタッチで取り外れます。取り付けもだれでもできる簡単なものです。

そして、外した内装はすべて洗濯機を利用して洗濯することができます。脱水機にもかけられますので、今までの丸洗い内装に比べ、乾燥時間を通かに短縮する事ができます。これからは、もっと気軽に、肌着感覚で、内装を洗濯することができるようになるのです。もちろんオプションにより、内装全体を洗濯できる事も可能です。

アライの20年来の夢であったかぶり心地と使い勝手、そしてなによりも安全性を両立させた清潔内装。それがアストロFSシステム内装です。



もちろん、内装はいつも清潔でなければならぬという思いは、汚れやすいホホ部分を取り外し式にしたシステムパッドや、丸洗い可能な内装システムの採用により、カタチにし

20年来の夢 **ARAI**の清潔内装

(株)アライヘルメット
 〒330 埼玉県大宮市東町2-12
 TEL.(048)641-3825~7



●アフターサービスの窓口は品質管理課です。
 製品の事なら、お気軽にご相談ください。
 直通 TEL.(048)645-3661